

第22回外務省政策会議 (概要記録)

日時：3月10日 午前8：00～8：40

場所：衆議院第2議員会館 第4会議室

出席議員の概数：20名程度

議題：

- (1) チリ地震への対応について
- (2) 2009年版 政府開発援助(ODA)白書について
- (3) その他

外務省からの説明

1. チリ地震への対応について【事務方】

配布資料に沿って、チリ大地震の概要及び政府の対応について説明。

2. 2009年版 政府開発援助(ODA)白書について【事務方】

9日閣議報告された本白書について、配布資料に沿って概要説明。

質疑応答

1. チリ地震への対応について

(質問・コメント)

- ・ コンセプションの邦人安否確認に地震発生から4-5日かかっているが、これは現地大使館のパフォーマンスとしてどうなのか。

(回答：西村政務官他)

- ・ コンセプションでは地震発生直後は通信状況も悪かったため、大使館から館員を現地に派遣し、邦人が居住している住所を一軒一軒回って安否確認を行った。また、コンセプションの邦人33名中32名については早い段階で安否確認ができていたが、残る1人については、住所の確認に少し時間がかかったという経緯がある。

2. 2009年版 政府開発援助(ODA)白書について

(質問・コメント)

- ・ 他のドナー国の援助の実態を踏まえた日本の援助の位置づけ如何。他国の援助について分析しているのか。
- ・ 新政権のイニシアティブについては、未だ実績がないにもかかわらず、白書に盛り込むのは疑問。白書の立場が整理されていない。
- ・ 白書は報告書であり、前政権の実績と評価をまとめるべし。
- ・ 前政権の流れが新政権の下でどう変わったのか、国民に分かるようにすべし。
- ・ 外国からの評価(謝意表明等)を盛り込むべし(他国からの評価には「やらせ」等の問

題もある旨の意見あり)。

- ・ O D A 白書のあり方について見直すべし。

(回答：福山副大臣他)

- ・ 鳩山総理が国連演説で示された O D A に係る政策については、白書の第 1 部で「頭出し」として記述した。
- ・ 白書作成は予算年度内の事業であるところ、年度内に政権交代が行われ、新政権の下で公表する白書において、新政権が打ち出したイニシアティブ等を無視することは出来ない、最新の情報を国民に伝えたいとの立場から新政権の動きを今次白書に含めることとした。
- ・ 他国による援助や他ドナーとの援助協調については、国別援助計画策定に当たっても考慮している、各国の援助方針、援助実施体制については調査の上、ホームページに掲載している。
- ・ 中国等の新興ドナーや国際環境の変化を踏まえた日本の O D A のあり方については、大臣の下での O D A 政策見直しの中で検討中である。
- ・ 明年の白書については、どのような方向で書くか事前に相談したい。

(了)